



これほど これからと 岡高志

タウンミーティング開催

5月31日(土) 16:00 - 17:30
大岡山北口商店街事務所2階(北千束1-52-5)
※参加無料。お席の都合上、事前にお申込みください。

おか たかし プロフィール

- 1976年(昭和51年)3月生まれ。
- 2011年より大田区議会議員(民主党)
- 東京大学法学部卒業。
- 信託銀行と投資会社に12年間勤務。
- 行政書士 宅建主任者
- 妻・子3人の 5人家族



ご相談は
お気軽に!

【あなたの声をお聞かせください】

下のアンケートにご協力ください。
oka@okatakashi.net FAX: 03-6315-6209
宛お送りください。

大田区政についてのアンケート

大田区で充実してほしいことを下からお選びください。
(複数回答可)

- | | | |
|----------|--------|----------|
| 学校教育 | 保育サービス | 介護サービス |
| 障害者福祉 | 産業振興 | 蒲田駅周辺の整備 |
| 蒲蒲線の整備促進 | 道路整備 | 公園の整備 |
| 防災対策 | 防犯対策 | 図書館 |
| スポーツ施設 | 減税 | |
| その他() | | |

※ その他、ご意見がありましたらご記入ください。

お名前 男・女 (歳)

ご住所 〒

TEL Email

ご回答いただきまして 誠に有り難うございます。

事前選挙 ポスター

No 事前選挙ポスター

2015年4月に大田区では区長・区議会議員の選挙が予定されています。事前選挙活動として候補予定者がポスターを貼り出します。大勢の候補が林立するので、街中にポスターが貼られて美観が損なわれます。

だから、私は
事前選挙ポスターを貼りません!
ポスターや看板に頼らない中身のある
情報発信をしてまいります。
(No 事前選挙ポスター議員連盟 共同代表を務めています。)

活動紹介

災害に立ち向かう



台風土砂災害を被った伊豆大島に視察を兼ねて災害ボランティアに参加しました。東北被災地も毎年訪問復興の実情を伺います。

上池台を中心とした集中豪雨対策や呑川の浄化対策にも取り組みました。

次世代を育てる



毎年学生向けのインターンシップを受入。今年は留学生も受け入れ「国際都市おた」を自ら実践。

子ども向けに、自然観察会、国会見学会、ダンスイベント、バスケットボールチームなど企画運営しています。

マニフェスト大賞

学校施設整備についての提言が評価され優秀政策提言賞を受賞しました。
(写真は、北川正恭氏と)



共産党を除けばほぼ、**オール与党体制**、区役所の追認機関となりがちな大田区議会で独立会派「改革民主党」を立ち上げて、是々非々の提言を行っています。
全50人の議員で唯一、全ての定例議会で質問しています。
第1定例会での議会発言、日々の活動、平成26年度予算についてご報告させていただきます。

● まちづくり

- 「蒲蒲線」新空港線は区民にとって便利か?
区長はJR東急蒲田駅と京急蒲田駅の「わずか800m」を結ぶとしている。一方で現状の構想は、蒲田地下駅と大鳥居の3km以上を地下新線で結ぶことであり、都合のいい表現であると思います。

新空港線の整備により多摩川線内の各駅は通過待ちで不便になるのではないかと。1日4万人以上の利用者が乗車する想定であるが、1時間に何本の電車が乗り入れる想定か?
【答弁】整備計画が決まった段階で、具体的な運行計画が決まるので、わからない。

- 空港シャトルバスの24時間化を
国際空港は24時間化されているが、公共交通でカバーできない国際便がある。“外国からの来訪者が円滑に移動できる都市”とはいえません。
空港と蒲田をつなぐシャトルバスを24時間化できないか?
【答弁】バス事業者は、深夜早朝時間帯のバスの運行時間の延長について、ダイヤや需要などを踏まえて検討していきます。

● 雑色・六郷土手への京急増発を

雑色・六郷土手駅の列車本数はラッシュアワーでも10分に1本。他の路線の各駅停車しかない同じ条件の駅と比較して少ない。区としてどのようにとらえますか?

【答弁】地域の実情を把握して、京急電鉄に働きかけていきます。

	基準駅	基準駅から約9.5kmの駅	運転間隔
京急本線	品川	雑色 (9.4km)	10分
西武池袋線	池袋	練馬高野台 (9.5km)	4分
小田急小田原線	新宿	千歳船橋 (9.2km)	7分
東急東横線	渋谷	新丸子 (10.3km)	5分

● 「勝海舟ミュージアム」の整備を

洗足池公園に「勝海舟ミュージアム」を整備して、洗足池の魅力を広く発信してほしいと要望してきたことが動き出しました。引き続きよりよい施設ができるように私も尽力してまいります。

● 教育

- 学校施設の早期建替えを
現状想定されている改築ペースでは、耐用年限に間に合わない校舎もですが、どう対応するのか?
【答弁】各学校の耐震度を精査して、耐力度を把握している。改修も実施して、長寿命化を図っている。
- 学校運営費は充実しているのか?
大田区は区の基準に基づいて適切に学校運営費を配分しているとしていますが、その通りに配分されていない学校もある。
【答弁】必要なものについての費用は別途対応します。予算に無くて、各校で実施したいものは要望すればいいものと理解しました。

● 公務員制度

- 組織の硬直化の改善を
区長が改善できないは、区の行政組織の硬直化です。職員の高齢化は組織の硬直性を増大させると言われる。4月の定期異動では、定年退職された人が7人部課長ポストにとどまり、定年前職員にとって部課長職ポストは減少しました。これでは、組織の硬直性は強まるばかりです。区長の加齢にしたがい、職員との年齢ギャップが大きくなり意思疎通が容易でなくなることに、人の上に立つものは意識しなければならぬでしょう。

● 中間層の職員の活力を

若い係長とベテラン職員との給与逆転現象が多く存在する。若手・中間層の職員にとってやる気の出る組織体制が必要であるとして、解消を訴えてまいりましたが、解決されていません。組織の硬直化を改善して活力ある職員により区民サービスを充実していただきたい。

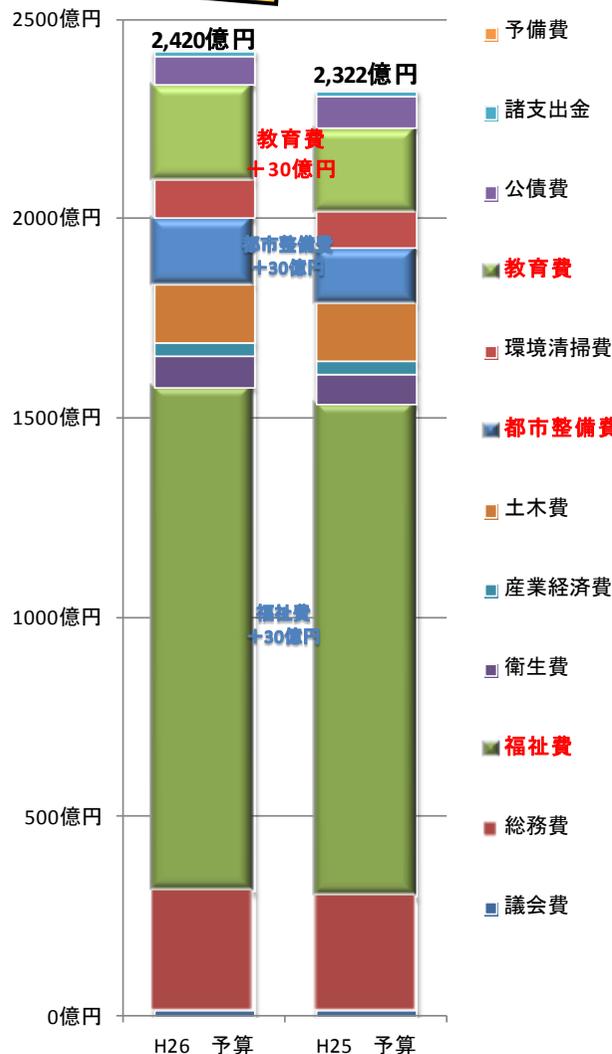
大田区 平成26年度予算

総額 2,420億円 前年度比プラス約100億円(4.2%)の大幅増額予算。
 大幅な税収増加が背景にありますが、引き続き税金のムダづかいがないように注視します。

歳出のポイント

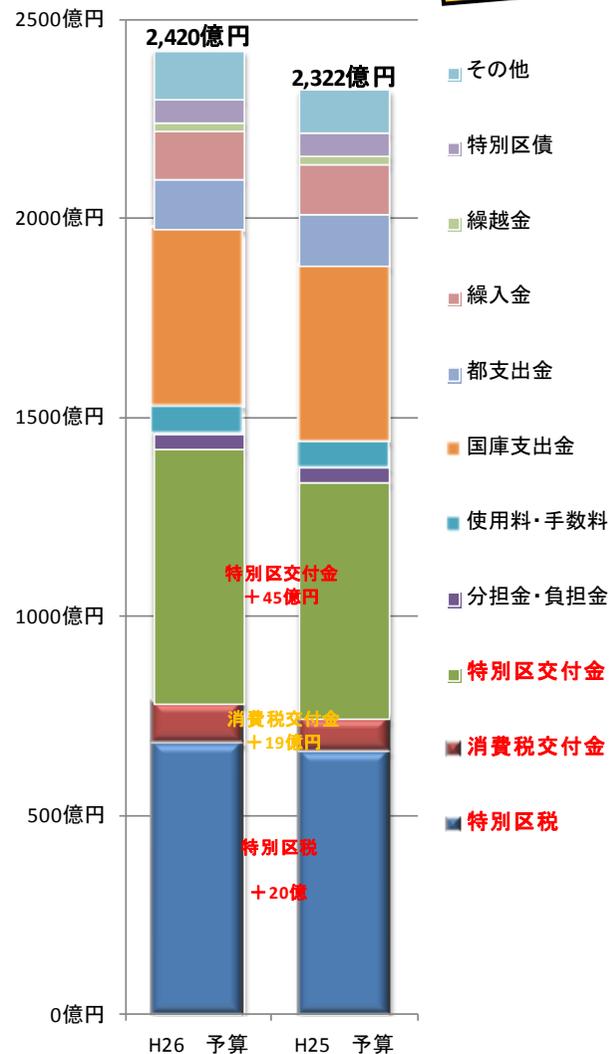
前年度との比較で平成26年度予算の歳出変動の要因をご説明します。

- 【教育費】
 - 伊豆高原学園の改築 **25億円**
 - 学校の改築 **14億円(9億円増)**
- 【都市整備費】
 - 蒲蒲線整備資金積立 **5億円**
 - 京急沿線の駅前再開発 **68億円(22億円増)**
- 【福祉費】
 - 障害者総合サポートセンター建設 **9億円(3億円増)**
 - 生活保護費の減少 **345億円(12億円減)**
 - 障害児通所給付費の増加 **6億円(4億円増)**
 - 待機児童対策 **27億円(16億円増)**
- 【総務費】
 - 公共施設整備資金積立 **20億円**



歳入のポイント

消費税率引き上げによる、税収増を19億円見込んでいます。
 特別区交付金というのは、本来基礎自治体が受け取るべき税金を東京都が受け取って配分しているものです。中心的な税源は、法人住民税や固定資産税です。
 特別区民税収も増加しました。
 特別区民税は、昨年分の所得を6月に反映します。つまり、個人の所得増加が遅れて反映されます。



特別会計

一般会計の他に、大田区では、3つの特別会計があり合わせて1,342億円の予算規模です。
 国民健康保険 736億円
 後期高齢者医療 142億円
 介護保険 464億円
 保険とありますが、被保険者の保険料負担は国民健康保険 24%、介護保険 21%
 区民全体の税収から支えているものです。
 だからこそ **医療費・介護給付費の適正化にも注目しています。**

岡高志の予算案への態度

国民健康保険特別会計には反対

社会保障制度の抜本改革が求められる中で、変更された保険料は、一部階層の保険料が引き下げられる一方で、低所得者・高所得者層の保険料は引き上げられ、平均的に保険料が値上がりするという不公平な状態でした。
 公平な社会保障制度づくりを目指してまいります。

一般会計などには賛成

歳入が100億円増加した一方で、歳出増の印象はありません。すでに計画されていた大規模事業が進捗しているにすぎません。今後は、私が強く要望していた**学校の改築、出張所の改築、調布地区への体育館新設**が計画に上がってきます。効率的な事業執行となるように、施設の複合化(学校の中に出張所窓口を設置するなど)についてもあわせて要望しました。
学校教育についての支出が、他の区と比較して、十分ではないと私は指摘しています。行政には様々な観点で検証していただくほか、せめて現状の教育予算を、**学校ごとの不公平なく**、消化するように要望いたしました。

平成26年度 注目の事業

- **防災力強化事業** **3億円**
 自治会配備のD級ポンプを入れ替え
 地理情報を活用した防災システム整備
 学校避難所の防災備蓄物品の充実
 マンション向け防災パンフレット作成
- **耐震診断・改修助成** **11億円**
 助成限度額が従来の3倍(工事費の2/3)
 ➢ 耐震診断 300万円
 ➢ 耐震設計 300万円
 ➢ 耐震工事 3,000万円
- **糞谷駅前再開発** **35億円**
 総事業費 199億円 26年度計上分↑
 (国負担44億円・区負担58億円)
 他に大田区は一部権利を取得
 駐輪場7億円・防災倉庫・高齢者施設
 保育所7億円
 平成29年度オープン予定
- **LED街路灯の設置** **5億円**
 区内の街路灯 21,000灯を平成30年度までの5か年計画でLEDに切り替えます。
 約60%の節電効果があります。
- **障害者総合サポートセンター**
 障害者(児)の生活を総合的にサポートするセンターが平成27年3月、中央4丁目にオープン。
- **待機児童対策** **27億円**
 330人の保育サービス定員増。
 保育園新設補助
 (認可3件・認証2件・スマ保3件)
 六郷保育園の改築、糞谷再開発ビルの一部取得
保育サービス全体の事業費は 154億円(27億円増)